

## ながれ (下司町)

下司の大川(吉野瀬川)は、昭和二十八年に構造改善されるまでは、東の端で丁字になって、突き当たり、一方は川下の当田町の方へ流れ、もう一方は、上に乗ってカーブして流れていて、村人は、この川をながれと呼んでいました。

この川は、川下の鳥井の水門の所で日野川に合流しました。

一日大雨が降ると、水があふれて、村中水びたしになり、玄関で雑きんを洗ってえん(床)を拭くことも度々でした。

水が引くと家の横の道には、きまって大きな穴が出来、魚が沢山いたこともありました。

川の水が減って、東出の大川(当田の方へ流れた川)の真中に砂や砂利の中州が出来ると、子供達は、それで山を作ったり、穴を掘ったりしまし

た。穴も色々形を変えて作り、穴と穴をつないで、そこを魚が行ったり来たりしました。

「おめえのは下手やなあー。」

「ぼう(僕)のは、いいやろう。」

と、お互いに自慢しながら、日の暮れるのも忘れて遊びました。

